



「誰もが自分らしく暮らせるまちづくり」を目指して 認知症サポーター養成講座 & 若年性認知症本人交流会 開催

京都光華女子大学（学長：高見 茂）では、9月17日（火）に認知症サポーター養成講座及び若年性認知症本人交流会を開催します。大学での若年性認知症本人交流会の開催は、京都市内では初めてとなります。認知症とともに生きる人たちと専門職・本学学生・教職員が交流するなかで、“自分らしく暮らせるまちづくり”について意見を交わし、それぞれの立場から自らの出番・役割はどこにあるのかを考えます。

■地域の認知症予防に取り組む京都光華が認知症普及啓発活動の一環として実施

本学では、校訓「真実心」のもと、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、人々の“健康”と“未来”に寄り添う取り組みをさまざま行っています。地域の認知症予防に取り組んできた本学は、京都市が実施する認知症普及啓発のための取組「認知症とともに2024」を支援しています。今回、認知症普及啓発活動の一環として、認知症サポーター養成講座と若年性認知症本人交流会を開催します。【若年性認知症本人交流会（おれんじサロン ひと・まち）】の方々から日常での困りごとやどのような点が改善されれば、自分らしく暮らすことができるのかについてお話しいただき、意見交換を行います。認知症の方と普段から関わりがある方だけでなく、多様な学科の学生や教職員が自身の考えや思いを認知症の方と共有し、意見を交わすことで、“Well-Being”な未来の実現を自分ごととして捉え、考える機会とします。

■医療・福祉を学ばない学生たちも参加

今や認知症者の数は700万人を超えるといわれ、社会の高齢化とともに今後さらに増加していくと見られています。そうすると社会生活の様々な場面で認知症の方々と接する機会が日常化することが考えられます。

今回、交流会に参加する学生は、日頃、医療・福祉を専門医学が学生に限らず、多くは、ビジネスや公共政策など社会の諸課題解決に向け学んでいるキャリア形成学科の学生が中心です。すべての人々の Well-Being の実現に向けて、社会の一員として、認知症とともに生きる人の立場に立って考え行動できる力を身につけたいとの思いを持って参加します。

■認知症プチ講座（講師：下坂 厚 氏）を同時開催

本イベントの参加者の中には、認知症の方と普段交流がない人もいます。ニュースや本では分からない認知症当事者の生の声を知るため、40代で若年性認知症を発症された下坂 厚氏や京都市長寿すこやかセンター職員を講師に迎え、認知症プチ講座を開催します。

■イベント詳細

日程：2024年9月17日（火）

会場：京都光華女子大学 慈光館6階太子堂（〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38）

内容：10：00～11：30 認知症サポーター養成講座

（講師：本学 作業療法専攻 森本 かえで 教授、瀬川 大 講師、岡山 友哉 助教）

13：15～13：45 認知症プチ講座（講師：下坂 厚 氏、京都市長寿すこやかセンター）

14：00～15：30 若年性認知症本人交流会

参加：30名

若年性認知症本人交流会「おれんじサロン ひと・まち」メンバー/京都市長寿すこやかセンター/

認知症サポーター/キャリア形成学科 学生、教職員/福祉リハビリテーション学科言語聴覚専攻 学生、教職員/大学事務局

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：藤尾

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] https://www.koka.ac.jp/



健やかな明日が華ひらく

Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。

その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。

私たちは、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、

学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。